

令和 7 年度 新居浜市立別子小・中学校 学校評価

1 結果

(1) 集計結果

※ 評価の平均値（あてはまる）4→3→2→1（あてはまらない）に基づいて
の評価平均値、最高評価は4となる。

令和 7 年度 別子小・中学校教育活動に関するアンケート結果 ＜以下の評価内容に対して、（あてはまる）4→3→2→1（あてはまらない）＞						
項 目	No.	内 容	児童	生徒	保護者	教員
Ⅰ 学 校 経 営	1	小・中学校は、地域とともに育つ学校を実現している。	3.0	3.3	3.9	3.9
	2	小・中学校は、積極的な授業公開と情報発信に努めている。		3.5	3.3	3.8
	3	小・中学校は、E S D を推進し、持続可能な社会の担い手育成を目指した教育活動をしている。	3.5	2.9	3.7	4.0
Ⅱ 教 育 活 動	4	子どもは、基礎的・基本的な知識及び技能が定着している。		3.5	3.2	3.0
	5	小・中学校や異学年間の連携や協働は適切である。	4.0	3.9	3.8	3.6
	6	I C T 機器（タブレットパソコン等）を活用した個別最適な学びがなされている。	4.0	3.7	3.5	3.8
	7	主体的・対話的で深い学びにつながる学習ができています。	3.5	3.6	3.7	3.5
	8	個性や可能性を伸ばし、自立と社会参加に向けたキャリア教育を実践している。	4.0	3.2	3.5	3.3
	9	コミュニティスクールの強みを生かした教科横断的な学習が行われている。		3.5	3.7	3.5
	10	自ら進んで学び活動し、継続して実践できる児童生徒を育成している。	4.0	3.2	3.5	3.5
	11	一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かい指導や支援を行っている。	4.0	3.5	3.4	3.5
	12	いじめを許さず、自他ともに大切にする児童生徒を育成し、居心地のよい集団作りを行っている。	4.0	3.7	3.4	3.9
	13	健康や安全に関して正しく判断して、行動できる児童生徒を育成している。	2.5	3.6	3.5	3.6
	14	別子山地区での体験や経験を通して、生命への畏敬の念と共生の心の育成に取り組んでいる。		3.8	3.7	3.8

なお、児童は 10 項目のアンケートを行い、生徒・保護者・教職員アンケートと関連付けている。

(2) 教職員アンケート（記述式）※主な意見を抽出

『1 学習指導に関すること』

- 教科・総合的な学習の時間にかかわらず、タブレット端末を利用しての技術は上がってよいが、かなり制作資料づくりに時間を使っていると思う。生徒によっては、家庭学習で作り上げられているが、イメージして活用して仕上げるまでにとても時間がかかる生徒もいる。英語・国語・総合的な学習の時間など、発表できるところまでする活動が多すぎる。普段の生活リズムが崩れがちのため、内容の精選を図る必要がある。(中)
- 別子の特色を生かしながら、また、学力差も含めてバランスを意識しながら授業を展開しなければならないと感じている。(中)
- これまで蓄積された学習実績をインターネット上でよく見る。教職員の意識が高く、それぞれの教科で学びを深められている。個々の学力に差があると感じているため、自由進度学習等指導について探究したい。
- 様々な先生方が学習に対してサポートしてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。また、先輩が後輩の学習を気に掛ける姿勢が見られるようになり、生徒自身の成長を感じる。(中)
- 子供は学校生活を楽しんでおり、本人にとって良い環境だと感じている。しかし、学習面において、授業の理解度、自主学習方法に成長があるのか、クラス内での成績の位置が分からないので、家庭で何をフォローするべきか、この先進路の選択肢があるのか不安です。(保)

『2 生活指導に関すること』

- ブレザースーツに合わせた靴下の許容範囲について、ある程度明示できるとよい。頭髮についても前髪の長さについて声を掛けてはいるけれど、規定にないからと学習にふさわしくない身だしなみになっている。(中)
- 「学校生活のきまり」の見直しを、今後も生徒・保護者・教師と連携して進めていく。(中)
- 集団になったときに、規範意識が弱くなる傾向がある。学級での指導の重要性を感じた。(中)
- 誰もが集団の中で居心地が悪くならないように配慮していく必要がある。教育相談やスクールカウンセラーの活用など、これからも積極的に生活のサポートしていく。(中)

- 靴下の色について、適宜指導することが難しい。校外活動の前だけに特別に指導するのであれば、最初から規律を決めて日頃から意識させた方がよい。(中)
- 児童生徒一人一人と向き合っており、何かあれば直ぐにチーム学校で対応することができている。教員間で情報共有ができており、良いと思う。(小)

『3 学校運営に関すること』

- 小中学校において、保護者、地域の方が来やすい参加しやすい行事や授業公開などが組まれている。地域と共に育つ環境づくりに努めている。小中での協働活動があり、よく連携できている。(中)
- 別々の学校であるが、もう少し小中学校の連携があってもよいと思う。全体的に中学校だけで進めているように感じる。中学校の先生方に特に専科などとても申し訳ない気がする。(小)
- 行事が多い。(中)
- 卒業生や地域の方々、行政や関係職員、保護者と連携を図りながら運営されていると思う。しかし、職員会議が報告や周知で終わるのではなく、話し合いや議論する場であってもよいと思う。その他の議題がメインになっていることに違和感を覚える。時間短縮を目指すべきだとは思いますが、もっと議題についての理解と話し合いのバランスをとってほしい。(中)
- 昨年と同じ課題であるが、職員会議前の資料提出が遅くじっくり事前に内容を吟味する時間がない。もっと先を読んで、計画的に余裕を持って行事や授業の実施もしくは精選する必要がある。(中)
- 学校運営協議会に熟議を取り入れ、生徒、地域、保護者、教師と協働して学校運営を行うことができた。(中)

『4 寮に関すること』

- 生徒たちが寮長・副寮長中心に、自主的に運営を頑張ろうとしている一生懸命さが伝わってくる。
- イベント的な行事が多い。そこに力を入れすぎている傾向に心配している。本来の目的に立ち返り、ストップを掛け合えるような寮生の力が必要である。
- 寮の 18 名の生活指導等 1 名の管理人で行うことは難しい。相談相手も兼ねた、寮父母男女 2 名体制を望む。
- どこまで寮内に介入するかが難しい。できるだけ寮生と同じ時間を共有すべきであると思っている。寮生の精神的な不安や課題について全体で共有し、素早く対応することに努める。

- 昨年からの課題として、周囲のことを考えず自己中心的な行動が見られた生徒が一部いた。今年度の対応として寮管理人と生徒の関わりが功を奏しているので、新居浜市教育委員会からも定期的な関わりをお願いしたい。

『5 生徒会に関すること』

- いろいろなことを生徒主体で行うことができるようにサポートしたい。各役員の公約や目標を常に全体で共有し、担当のみならず全教職員で役員の成長を促したい。活動として、地域に向ける力を学校自体（環境・生活・人権・生徒）にも向けでほしい。

『6 その他に関すること』

- 特になし。

2 アンケートの分析

(1) 児童・生徒アンケート

アンケート 14 項目中 12 項目が評価平均値 3.5 以上であった。その中でも特に高い評価となったのは、項目番号 5・6・12・14 であった。

また、12 に関しては、児童生徒、教師、保護者の平均が 3.8 と高い評価である。要因としては、対話を重視した教育活動（授業や行事）が行われていることが考えられる。「おしゃべっし」や「BST（別子スマイルタイム）」も継続しており、小中や地域との交流が図られ、自己や他者の理解を深めるスキルを高めている。他には、児童生徒情報の共有を教職員で毎朝行い、児童生徒の「変化」や「いじめ」を見逃さず、それがいじめを許さない集団づくりにつながっていると考える。

(2) 保護者アンケート

アンケート項目の評価平均値が 3.6 という高い評価になっている。

「地域とともに育つ学校」や「小・中学校や異学年間の連携や協働は適切である」は保護者に理解されているが、「基礎的・基本的な知識及び技能が定着している」「積極的な授業公開と情報発信に努めている」の項目が低い評価である。学習については、授業での学びを家庭や寮において振り返る活動の在り方に課題を感じている。また、情報発信については、教職員が個人の携帯電話を用いて発信していた写真アプリの使用を、不祥事防止の観点から中止したことが考えられる。学校ホームページや保護者連絡ツールを用いて、情報発信に努めていく。

(3) 教職員アンケート

アンケート 14 項目すべての項目で評価平均値が 3.6 以上となり、高い評価である。特に項目 1・3・6・12・16 と、地域との連携・協働が高い評価を得ている。

「別子ファーム」や「おしゃべっし」のみならず、学校運営協議会（CS）での熟議にも生徒が参加するなど、学校や地域の課題解決に向けて親密な関係を構築することができたから考える。

3 アンケートの結果からの課題について

小学校のアンケート結果から、健康・安全に関して正しく判断・行動することが課題となっている。毎日健康に過ごすための食事、睡眠、運動の在り方について、学校保健委員会と連携を図り、指導の改善に努める。

中学校のアンケート結果から、「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」「一人一人のニーズに応じたきめ細かい指導や支援」の評価を見ると、生徒、保護者、教員が課題として捉えている。今後、具体的な学習支援の方法等について、教職員で研修を深め、改善を図る。

4 学校評議員による学校評価（記述）

(1) 学校評価アンケート結果の感想

- とても良い活動ができていると感じた。
- 別子山地域で取り組んできた観光産業を核とした地域活性化の中で、別子小中学校が教育観光地域資源をつなぐ核として今後さらに重要な存在です。よって、アンケート結果では、バランスの良い教育活動がなされていると思った。
- ほとんどの項目が高評価ですばらしい。先生方も地域の特性を考慮し子供たちへの指導助言がなされていると思う。さらに、生徒さんの評価も親元を離れての学校生活を楽しむ余裕も感じられ、うれしい限りです。
- おおむね児童・生徒・保護者・教員の評価内容が一致しており、連携できていると思う。
- 少人数で比較がしにくいこともあり、基礎・基本の定着については慎重な評価になったと感じている。

(2) 児童生徒の良い点や伸ばす必要がある点について、別子小中学校で ESD を推進し、持続可能な社会の担い手育成を目指した教育活動をするために必要と思われる意見をお聞かせください。

- 安心できる学校、強い心を育てる学校であってほしい。
- 別子山でESDを推進し児童生徒を伸ばしていくために、イタヤカエデや豊かな水源・森林資源を活用した、森と水の探究プログラムを実施してみてはどうか。
- 学びの分野を絞り、その課題を自分事としてとらえて考えることで、解決の手立てが見えてくると思う。

- 持続可能な社会の担い手とは具体的にどのような人物なのか、よくわかりません。
- ボランティア活動や地域の方との交流を通して、社会課題に触れ持続可能な社会について主体的に考える力が付くと思う。

(3) 学校や教職員に対してのご意見

- 笑顔が増える学校であってほしい。
- 先生方にとって別子山での生活は大変でしょうから、多くを望みません。
- 先生方におかれましては、毎日の遠距離通勤、本当にご苦労さまです。私も様々な行事で子供たちと接していますが、みなさん明るくお話してくれる。この姿勢は、先生方一人一人のご指導のたまものであると子供たちの表情から読み取ることができる。これからも新時代を切り拓く子供たちの育成のために、ご指導をよろしく願います。
- 日頃から、主体的で対話的な深い学びの機会を大切にいただき、感謝している。

(4) その他

- 教員の方々の活動は、とても良いと感じている。挨拶もきちんとできている。
- わが事業所は、食と地域資源を探究している。みなさんとの関わりの中で、意見や感想が地域や私たちを育ててくれている。皆さんの学びが、そのまま地域の価値の創造につながることを願っている。
- PTAの活動内容をより具体的にわかる取組を行うと、役員決めのときにわかりやすいと思う。
- 日々、体調管理を万全にされ、一人一人が精神的にも身体的にも健康であり、常に笑顔で学校生活を送ることができるように望みます。